

2026年7月7日

各位

会社名 株式会社トレードワークス
代表者名 代表取締役社長 齋藤 正勝
(コード：3997 東証スタンダード)

— 〈政治とお金〉の透明性に、テクノロジーで応える —

政治献金・会費・パーティー券をオンチェーンで可視化する コミュニティ運営基盤の提供を開始

～議員事務所への導入が決定。後援会をはじめ、各種団体・地域コミュニティへ～

金融機関および事業者の Forward Deployed Engineer (FDE) として、サービスの企画・開発・運用までを一気通貫で支援する株式会社トレードワークス（以下「当社」、本社：東京都港区、代表取締役社長：齋藤 正勝）は、**会費・寄付・パーティー券といった資金の流れと、支援のつながりをブロックチェーン上で改ざん困難な形に記録し可視化する「コミュニティ運営基盤」**を2026年7月8日より提供開始いたします。あわせて、同日より本基盤が議員事務所に正式導入されたことをご知らせいたします。他複数の議員事務所からも引き合いをいただいております。順次導入を進めてまいります。

「政治とお金」をめぐる社会的関心が高まるなか、求められているのは、資金や支援の流れを事後の報告ではなく、構造的に追跡可能（トレーサブル）にする仕組みです。当社は、証券取引システム開発で培った金融グレードの堅牢な技術と、ブロックチェーン・ファンコミュニティ領域で蓄積した実装知見を掛け合わせ、透明性・健全性・利便性を同時に満たす基盤を構築いたしました。

■ 背景 — 「政治とお金」と“仕組みによる透明性”

近年、政治資金をめぐる社会的関心が高まり、政治への信頼の回復は我が国の重要な課題となっています。政治資金規正法に基づく収支報告は事後の開示を中心とする制度であり、資金や支援の流れを、改ざん困難な形でわかりやすく示す手段は限られていました。

一方、議員事務所の運営現場では、会員管理や会費・寄付の取り扱いが紙や Excel に依存し、案内業務や支援者とのコミュニケーションに多大な労力がかかっているという声を多くいただきました。当社は、改ざんが困難というブロックチェーンの特性と、金融分野で磨いた安全

なシステム運営のノウハウを掛け合わせることで、これらの課題に「運用の努力」ではなく「仕組み」で応えられると考えています。

■ アプローチ — 金融技術をコミュニティの透明化へ

本基盤は、当社が金融機関向けに展開してきたブロックチェーン特典配信基盤「toku-chain」の延長線上にあります。「toku-chain」は、特典やクーポンを NFT 化し利用状況をトレース可能にする仕組みとして、証券会社等の金融機関における優良顧客向けロイヤリティプログラム等に採用されてきました。当社はこの実績ある基盤を、会員・会費・寄付の管理やコミュニティ運営の領域へと応用し、透明性を要する組織運営に必要な機能をひとつのアプリに集約しています。支援者はウォレットや Web3 の専門知識を意識することなく、普段のアプリと同じ感覚で利用できます。

■ 当社の実績 — ファンダム（クリエイターエコノミー）で培った基盤

当社は、金融システム開発で培った技術を土台に、近年はデジタルコマース／Web3 領域でファンダム（ファンコミュニティ）事業に取り組んでまいりました。2023 年には BEAMING・KeyHolder との 3 社連携でファンダム事業に参画し、当社はファンダムシステムの開発・保守運用を担当。2025 年 5 月には、SKE48 出身の江籠裕奈さんの公認ファンダムが、ファンダム運営アプリ「STAN」上で活動を開始しています。

2026 年 6 月には、分散型データ基盤を手がける DiscoverFeed 株式会社と新規事業で基本合意。同社のファンダムプラットフォーム「MY アルバム」と連携し、当社はクリエイター向け管理画面や課金・報酬分配等のアプリケーション層を担います。ファンの熱量を可視化し、クリエイターの活動を収益面から支えるこれらの知見を、金融グレードの安全性と結びつけることで、政治・コミュニティ領域へ応用したものが本基盤です。

また、NFT を活用した特典配信基盤「toku-chain」は、大和証券の新アプリ「D-Port」（2025 年 4 月）や 트레이ダーズ証券の富裕層向けサービス（2026 年 5 月）に採用されるなど、金融機関での実績を重ねています。

■ 本基盤の主な機能

組織運営に必要な機能をひとつのアプリに集約し、運営側の負担を軽減しながら、資金と支援の流れを透明化します。

機能	内容
① 会費・寄付・会員管理（オンチェーン領収書は今後実装予定）	会費・寄付・会員情報に関する管理業務をアプリ上でデジタル化し、運営の効率化と記録の明確化を支援します。オンチェーン領収書の発行機能は現在開発を進めており、今後実装を予定しています。
② イベント参加券・パーティー券のブロックチェーン化	フォーラム・セミナー等のイベント参加券や、政治資金パーティー券をデジタル発行し、発券・購入・保有・利用の履歴をオンチェーンで記録。券面の真正性と資金フローの透明性を確保します。
③ NFT 会員証／貢献の可視化	会員資格や支援の継続・貢献度を NFT（非代替性トークン）として発行・管理。QR コードでリアルイベントの本人確認・入場認証にも活用でき、健全なつながりの広がりを見視化します。
④ 会員限定コンテンツ配信（クリエイターエコノミー化）	政策解説・活動報告・動画等を会員向けに配信。支援者との継続的な関係のなかで、価値提供に基づく適正な収益化を実現します。

■ “政治家＝クリエイター”という新しい関係

本基盤は、不透明になりがちな集金のあり方を、価値提供に基づく健全な収益化へと転換する視点を備えています。議員や事務所は、政策解説・活動報告・限定動画といったコンテンツを通じて支援者と継続的な関係を築き、適正な会計処理を前提に、その活動を健全に支えていただくことができます。アイドルやタレントがファンとの関係のなかでコンテンツを通じて活動を支えられているように、政治家もまた一人の“クリエイター”として、透明性を保ちながら支援者とつながる時代へと向かいます。

■ 議員事務所への先行導入（ファーストユーザー）

本基盤の第一弾の導入先として、2026年7月8日より議員事務所にご採用いただきました。今後は、ファーストユーザーとして実運用を通じた機能改善・高度化にもご協力いただく予定です。当社は、後援会を起点に、各種団体・地域コミュニティ・中小規模組織へと展開してまいります。

■ 本基盤の技術的特徴

- 1. 改ざん困難な分散台帳による記録** 会費・寄付・パーティー券や紹介のつながりを、ブロックチェーン上の分散台帳に改ざん困難な形で記録し、後から書き換えられない透明な記録を実現します。
- 2. スマートコントラクトによる自動処理** 貢献度に応じた会員証のランクアップや各種記録の処理を自動実行し、人手を介さず公平かつ正確な運用を担保します。
- 3. ウォレットを意識させない UX** メールアドレスのみでウォレットを自動生成。支援者は Web3 の専門知識を必要とせず、普段のアプリと同じ感覚で利用できます。
- 4. 金融グレードのセキュリティと個人情報保護** 金融取引システム開発およびセキュリティ診断事業で培った知見を活かし、支援者の個人情報を厳格に保護します。

■ 成長戦略と業績 — 「FDE・AI・オンチェーン」三本柱

当社は独立系の金融システム会社として、証券会社をはじめとする金融機関向けにシステムを開発・提供してまいりました。近年は「FDE（Forward Deployed Engineer）」「AI」「オンチェーン」を三本柱とする成長戦略を掲げ、2026年6月1日付で社長直轄の「AI×オンチェーン金融戦略会議」を発足、「オンチェーン戦略室」を新設しています。本基盤は、この戦略に基づくオンチェーン施策の社会実装の一つです。

業績面では、2025年12月期に連結売上高 50.52 億円（前期比+10.0%）、営業利益 2.59 億円と黒字転換し V 字回復を達成。2026年12月期は売上高 57 億円、営業利益 4.8 億円を見込んでいます。当社は今後、AI エージェントが取引・運用・決済の主体として機能する次世代基盤「Trade AI Agent」（商標登録出願中）等の AI 領域の取組みと組み合わせ、「AI×オンチェーン」による次世代インフラの社会実装を加速してまいります。

< 本件に関するお問合せ先 >

株式会社トレードワークス 経営企画部 IR 担当

Mail : ir@tworks.co.jp TEL : 03-6230-8900

以 上

【別紙】ご参考：画面イメージ・概念図

※下記はいずれも開発中のイメージ（サンプル）です。固有名・数値は仮置きです。

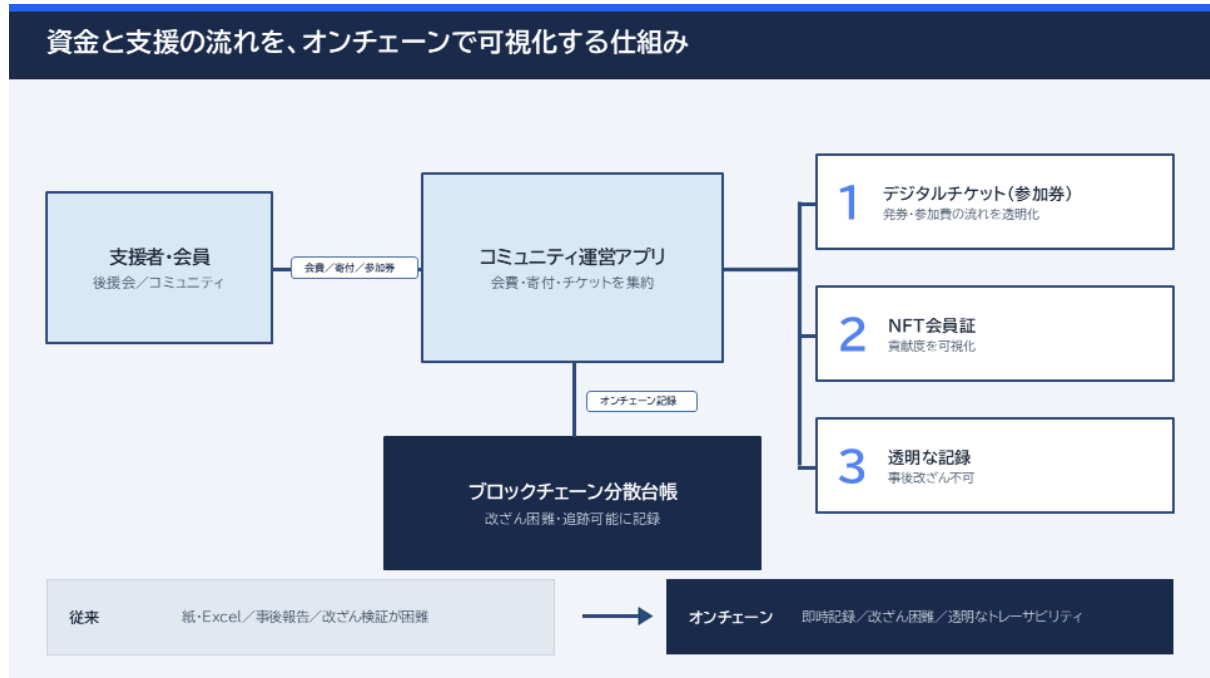


図 1. 資金と支援の流れをオンチェーンで可視化する仕組み



図 2. ホーム画面



図 3. NFT 会員証 (ランク・QR)



図 4. デジタルチケット (参加券)